

お西さん

2025
令和7年

11-12

令和7年11・12月 函館別院 法要案内

除夜会(12/31)・元旦会(1/1) …P2

◆◆◆ お晨朝開始時間変更のお知らせ ◆◆◆

12月～2月まで、お晨朝の開始時間が午前7時となります。

1日の始まりに仏さまと向かい合う時間はいかがでしょうか。本堂を暖かくしてお待ちしております。

◆◆◆ 月忌参り お休みのお知らせ ◆◆◆

12月28日(日)～1月10日(土)詳細はP1に掲載しています。



「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

ホームページアドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp>



ようこそ
函館別院へ

常例布教

布教使さん紹介

◆11月12日(水)～16日(日)



本願寺派布教使
安芸教区 沼田組

法隆寺

もりおか よしたか

森岡 恵隆 師

十一月の常例法座の尊いご縁をいただきました、この度で三度目のご縁となります。今年は私にとって随分いろいろとあった年でもあります。五月には住職継職奉告法要を勤めさせていただき、住職として歩みをはじめたところです。

また夏には私の母校である広陵高校が世間を賑わせ、私自身も野球部のOBとしていろいろと感じることがありました。時代とともに指導方法や教育方法も変化してきたと思います。時代によって変化も必要ですが、たとえばどれほど時代が変化しても変わらないものがあると教えていただいたのが、このお念仏の教えだと思えます。その阿弥陀様の真実のおこころをお聞かせいただき、皆様ともにお念仏の時間を過ごさせていただけたらと思います。合掌

◆12月12日(金)～15日(月)

本願寺派布教使

北海道教区 空知北組

法忍寺 渡辺 雅俊 師

※12月16日は職員法話

本願寺江差別院 令和7年宗祖親鸞聖人 報恩講

◆11月12日(水)
・逮夜…午後2時

◆11月13日(木)
・晨朝…午前7時
・日中…午前10時
・逮夜…午後2時

◆11月14日(金)
・晨朝…午前7時
・満日中…午前10時

※日程等に変更することがありますので、

詳しくは江差別院までお問合せください。

☎0139-52-0567

年末年始月忌参りのお休みについて

12月28日～12月31日の間、除夜会・元旦会の準備等のため、また、1月1日～1月10日の間についてはお年始参りの期間のため、月忌(月命日)のお参りはお休みさせていただきます。なお12月28日～12月31日の間、祥月命日はお伺いいたしますが、1月1日～1月10日の間の年始参り期間中の祥月のお参りにつきましては、お年始参りにかえさせていただきます。

※中陰(初七日～四十九日等)は上記期間中も通常通りお伺いいたします。

今年も残り僅かとなってまいりました。大晦日の夜空に響く鐘の音を聞きながら新しい気持ちで新年を迎えましょう。

除夜会

令和7年 12月31日 大晦日
午後11時より

みなさんで除夜の鐘を
つきませんか。

新年を迎えたことを喜び、みなさんと盃をいただきます。
法要の後には「お楽しみ抽選会」もあります。

元旦会

令和8年 1月1日 午前0時より

除夜会終了後、
引き続き

第3回 『職員のよもやま話』 【今回は葛谷・打本】

打本 十月十三日から十六日に本願寺函館別院で親鸞聖人の報恩講がありました。聖人の生涯についてお話

してもらってもいいですか？

葛谷 平安時代も終わりに近い一一七三年五月二十一日、

親鸞聖人は京都の日野の里で誕生されました。父は藤原氏の流れをくむ日野有範、母は吉光女と伝えられています。聖人は一一八一年、九歳の春、伯父の日野範綱にともなわれて、慈円和尚のもとで出家、得度されました。

打本 そのとき、聖人が詠まれた有名な歌があるそうですが、詳しく教えていただけますか？

葛谷 それは、慈円和尚が「時間も遅いし明日にしてはどうか」という言葉をかけた際に詠まれた、「明日ありと思ふ心の仇桜 夜半に風の吹かぬものは」ですね。夜に風が吹いて、明日の朝には桜が散ってしまうかもしれないので、今晩中に得度の式をしてほしいと、九歳の聖人が懇願されたときに詠まれた歌ですね。

打本 この年齢で、世の無常を感じられていたのかもしれないですね。その後は、どうされたのですか？

葛谷 すぐに比叡山にのぼられ、主に横川という場所です。不断念仏の堂僧として、二十年の間、ひたすら厳しい修行と学問に励まれました。

打本 ここで学ばれたことが、聖人が書かれた『教行信証』や『和讃』など、たくさんさんの著書へと繋がるのでしょうか？ここまでは、順風満帆のように感じるのですか？

葛谷 聖人二十九歳のとき、比叡山では覺りに至る道を見出すことができなかったため、ついに山を下り、京都の六角堂に百日間こもられ、尊敬する聖徳太子に今後の進むべき道を仰ぐためでした。九十五日目の暁、聖徳太子ゆかりの救世観音から夢のなかでお告げを受けられ、東山の吉水で本願念仏の教えを説かれていた法然聖人のもとを百日の間訪ねられ、ついに「法然聖人にだまされて地獄に堕ちても後悔しない」とまで思われ、本願を信じ念仏する身となられたのです。

打本 法然聖人との出会いは、親鸞聖人の人生の大転換となった出来事ですね。

葛谷 法然聖人の弟子となられ、聞法と研学に励まれた親鸞聖人は、法然聖人の主著である『選択集』を写す

ことを許され、名前を善信と改められました。そのころ、法然聖人の開かれたお念仏ひとつで救われると説く浄土教に対して、旧仏教の教団から激しい非難があり、一二〇七年、念仏が禁止（念仏弾圧）され、法然聖人は土佐に、親鸞聖人は越後（今の新潟県）に流罪になりました。これを機に親鸞聖人は愚禿親鸞と名のられ、非僧非俗（僧にあらず・俗にあらず）という立場に立たれました。

打本 当時の旧仏教教団にとって、法然聖人や親鸞聖人は、目の上のたんこぶだったのでしょうかね。

越後での生活は大変だったでしょう。その後、関東での生活を経て、京都に戻られるのですか。

葛谷 恵信尼さまと結婚、男女六人のお子さまを授かり、在俗のままで念仏の生活を営まれました。一二二四年、四十二歳のとき、妻子とともに越後から関東におもむかれ、常陸（今の茨城県）の小島や稲田の草庵を中心として、本願念仏の喜びを伝えられました。一二三五年、六十三歳のころ、関東二十年の教化を終えられ、妻子を伴って京都に帰られました。京都では晩年まで『教行信証』を添削されたとともに、『和讃』など数多くの書物を著されました。

一二六三年一月十六日、親鸞聖人は京都の三条富小路（現在の京都市右京区）でご往生されました。九十歳でした。

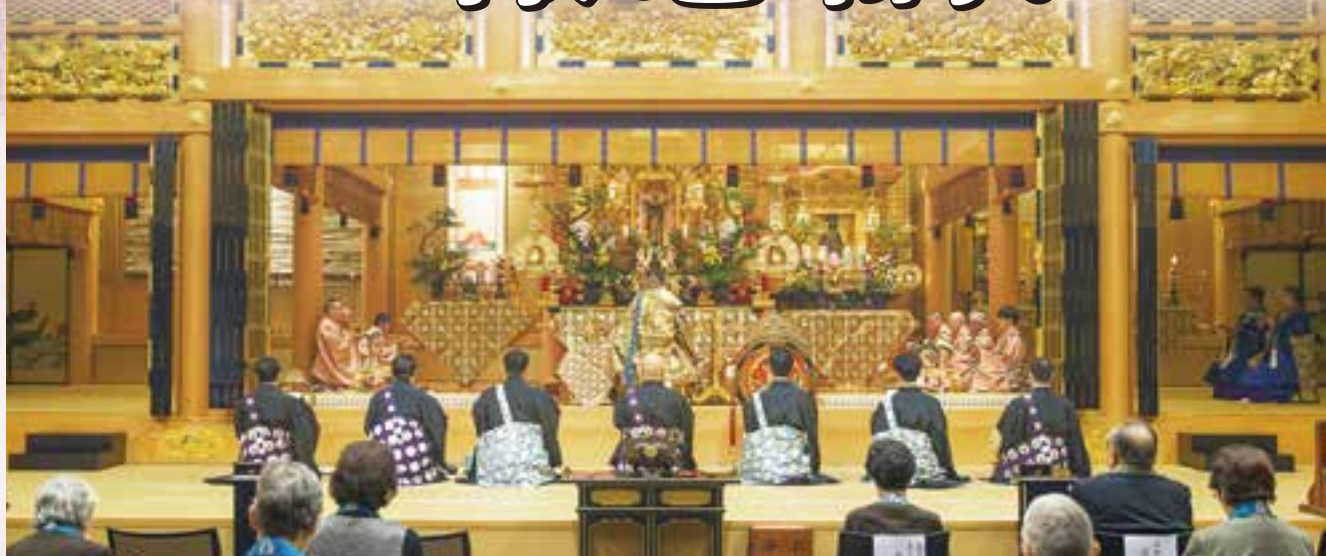
打本 当時、九十歳という年齢は、かなりのご長寿だったと思います。ちなみに、師である法然聖人も八十歳という当時の長命を全うされたそうですね。毎年五月におつとめされる「降誕会」、そして、十月におつとめされる「報恩講」において、親鸞聖人のご生涯を尋ね、年二回、お慶びと報恩感謝のお勤めをご一緒できること、ありがたく思います。

南無阿弥陀仏…

令和7年 宗祖親鸞聖人 報恩講

10月13日
～10月16日

スナップ



6年ぶりの報恩講慶びの広場



応募いただいた作品の展示

秋季彼岸会

スナップ



9月20日～23日までの間【函館別院秋季彼岸会】が厳修されました。初日は台町出張所にて「台町彼岸会」並びに堀川乗経師の墓前にて「台町墓地総追悼法要」を勤めさせていただきました。

はこだてカルチャーナイト 報告

函館市開催のはこだてカルチャーナイトに今年も協力参加いたしました。今回、西別院が催したのは「クイズウォークラリー」。本堂の中からクイズのヒントを探してクロスワードパズルを解いていただきました。仏教の少し難しい問題を用意しておりましたが、どなたも最後まで試行錯誤頑張ってくださいました。



当院にも毎年たくさんのご来場をいただいております。**今年も190名程の方**にお寺や仏教に触れていただきました。また来年もお越しいただけますことをお待ちしております。



第22回

函館組慶讃法要協賛行事

食 飲 寛 学 ほのぼのお定仏の集い

楽しいひとときを一緒に！

参加者募集！

と き 令和7年 12月4日(木)

講 師 名和 康成師

ところ 湯元 啄木亭 (函館市湯川町1丁目)

北海道教区 空知南組 善行寺住職

※参加申込み・詳細についてのお問い合わせは別院までご連絡ください。TEL.0138-23-0647

仏教婦人会 創立120周年記念大会 報告



本願寺函館別院仏教婦人会創立120周年という大きな節目を迎えるに当たり、宇野教務所長様、武澤組長様のご来賓を賜り、又江差別院の方々のご臨席をいただきまして創立記念大会を開催いたしました。

尾井輪番様より記念講演を賜りまして、そのお話から、婦人会を築き上げて下さった先人の方々への感謝の気持とこの婦人会を引き継いでいく私共の責任の重さに身の引き締まる思いが湧いてきました。

これからも函館別院と婦人会の末永い発展の為、会員が共に手を携えて努めて参りたいと存じます。今後共、変わらぬご指導を賜ります様
 お願い申し上げまして御礼のご挨拶と致します。 本願寺函館別院仏教婦人会 会長 辻廣ヤス子



青柳中学校の生徒さんが西別院へ職場見学に来て下さいました
 以下は生徒さんが寄せてくださった感想です。

令和7年9月12日、私たち青柳中学校2年生4名は職場訪問学習で本願寺函館別院さんにお伺いしました。30分ほどの訪問でしたが色々な学びがありました。

説明で印象に残ったのは浄土真宗の教えを作った親鸞聖人、それを守ってきた歴代上人たちが内陣に掲げられていたことです。仏教を広めた聖徳太子もおられ、仏教の歴史の深さを感じました。またご本尊の阿弥陀様の像がお立ちになっているのは、私たち人間が苦しんでいる時に座ってはいられないからという説明を聞き、とても優しいお方と分かりました。

本堂に入って感じた

ことは、新しくとても豪華で綺麗だということです。華やかな金色の世界は仏様の極楽浄土を表していると感じて、とても納得できました。

最後に印象深かったことを述べさせてください。訪問日、本堂で法要が営まれ、参拝席には私たちの他に数人の門信徒の方もいらっしゃいました。その方たちの物腰や表情、私たちにかけてくれた言葉がとても柔らかく、お寺は私たちの心をとても穏やかにしてくれる大切な場所ということを感じさせられました。生徒一同

暮らしの中の拝む心・敬う心を大切に、ご宗旨に添った伝統的なお佛壇から、リビングに似合う家具調まで…。幅広い品揃えで質の高い佛壇・神具をお届けしております。各種提灯を展示しています。ご来店お待ち申し上げます。



(株)めもりある大師堂 函館店

函館市若松町4番11号
 TEL. 0138-27-2271 FAX. 0138-27-2285

家族葬向け小規模ホール

セレモニーハウス 桐花

施設のご紹介

- ◆ 函館駅から徒歩数分の好立地。
- ◆ 30～60人の家族葬に最適なメインホール。(椅子席)
- ◆ エレベーター完備。
- ◆ 病院等から直接リビング(安置室)へ御遺体搬入可能。
- ◆ 少人数であればリビングでの葬儀も可能。
- ◆ ご遺族の宿泊可能。風呂・台所完備。

函館駅前
 5号線沿い

年中無休
 24時間
 体制

お問い合わせ・申し込み

有限会社小田桐葬儀社

TEL(0138)22-1684 函館市若松町23-9

八月十七日～十月十六日現在

永代経懇志
ありがとうございます

八月十七日～十月十六日現在

お悔やみ
申し上げます



ちよつと
ひといき

ご門徒さんから頂いた作品を紹介させて頂きます。

燈下親し「佛心佛語」
二集目を
宝来町 笠原 玲子

いつ逝くか 病となりし
秋時雨
山の手 瀧 みゑ

報恩講 皆でみがいた
仏具映え
鍛治 練合 陽子

皆さんも俳句、短歌、漫画などお寄せ下さい。

テレフォン法話順番表

0138-271-2424
24時間お好きなときにご利用ください

- 11月 2日(日)→11月 8日(土)…柴 山
- 11月 9日(日)→11月15日(土)…打 本
- 11月16日(日)→11月22日(土)…白 井(副)
- 11月23日(日)→11月29日(土)…11月常例講師
- 11月30日(日)→12月 6日(土)…稲 岡(副)
- 12月 7日(日)→12月13日(土)…葛 谷
- 12月14日(日)→12月20日(土)…武 澤
- 12月21日(日)→12月31日(水)…12月常例講師

大募集

お便り

仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。「お西さん」にて、お答えします。

表紙

趣味の絵や写真で表紙を飾りませんか?
アマチュア・セミプロ・自薦・他薦は問いません。

あて先

函館市東川町12番12号
本願寺函館別院内 お西さん担当迄

TEL 0138-23-0647

お通夜・お葬儀をお寺で

西別院文化会館でお葬儀会場としてご使用できます。
詳細はお寺にお問い合わせください。

彩紋

〒041-0801 函館市桔梗町379-26
Tel 0138-46-6100
Fax 0138-46-6200
mail: info@sainet.co.jp
https://www.sainet.co.jp

当社オリジナル商品

蓋を
取るだけで
簡単に納骨

簡単納骨墓石

- 新しくお墓を建てたい
- お墓を綺麗にしたい
- 花立を直したい
- お墓を改修したい
- 法名を彫刻したい
- お墓じまいをお考えの方等…

株式会社 昭和石材

〒040-0072 函館市 亀田町22-13
TEL 0138-41-9422 E-mail: s.showa@gray.plala.or.jp

お墓のことなら何でもご相談ください

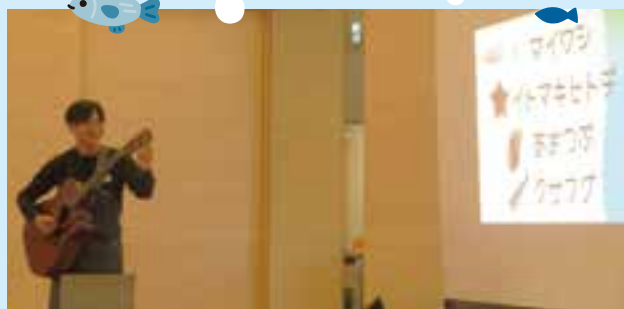
龍谷幼稚園

学校法人認定こども園

だより

魚育プロジェクト

子どもたちに函館の海の生き物について関心を深めて欲しいという思いから、**おさかなシンガーソングライターのいゆ先生と、漁師のくまき先生にたくさん**のことを教えて頂きました！



続いて ギターを取り出した いゆ先生

すぎよい授業で知った海の生き物たちのお名前をメロディーにのせてみんなで大合唱♪「イトマキヒトデ」等少し難しい名前でも、メロディーにのせれば不思議と歌うことができました！

最後は子どもたちがとても楽しみにしていたタッチプール☆



これまで学んだ海の生き物たちが実際に泳いでおり、子どもたちは大興奮！「ぬるぬるしてる〜」「ヒトデはざらざらだね！」と感触を友だちと伝え合いながら楽しんでいました。中には小さなトラサメも！「口の中はどうなってるんだろう？」と覗いてみたり、近くで見ると模様があることを発見していました！

給食でも今回の アジフライ・エビフライを頂きました！ 活動にちなんで、

魚たちの命を頂くことに感謝の気持ちを持って「いただきます！」海の生き物について知ったことで「この魚の名前はなあに？」と関心を持って頂く姿がありました。



これまで知らなかった海の生き物について、今回たくさんを学んだ子どもたち。これを機に海の生き物についてより興味を持ってほしいと思います。



さくら組
副担任 加藤 栞

まずはすぎよい授業

「このいきものの名前は？」というクイズからあらゆる海の生き物の名前を知りました。海の生き物に詳しいふじ組さんはどんどんクイズに答えていたり、他のクラスの子どもたちも興味津々でお話を聞く様子がありました。また、生き物の「すぎよいところ」ということで「ナマコには脳みそ・目・鼻・耳・心臓がない」「フグは危険を感じると体が膨らむ」等生き物たちの不思議な生態を学びました！

